

暑さが厳しくなり、夏の訪れを感じます。7月に入って蒸し暑い日も続いていますが、子どもたちはいろいろな遊びを楽しんでいます。

楽しみにしていたプール遊び

水遊びを楽しみにしていたはな組の子どもたち。先月下旬から水遊びが始まると、じょうろやバケツで水を流したり、水鉄砲で自分や保育者に水をかけたりするなど、水に触れて遊ぶことを楽しんできました。

そして、7月になってからは、ビニールプールにも入って遊んでいます。自分なりのペースでお尻を水につけてみたり、腹や顔に水をかけてみたりする姿が見られるようになりました。保育者や友達数人と一緒にプールに入り、カエルやワニに変身したり、保育者や友達とリズム遊びをしたりするなど、様々に動く中で水に触れて遊ぶ楽しさや気持ちよさを感じられるようにしています。

今は、自分なりに安心して水に触れて遊ぶことを大切にしています。そのため、タライやビニールプール等を使って、少しずつ水に触れる経験をしています。また、安全に楽しく遊ぶためには、約束を守ることも大切です。先生の話に注意してよく聞くことや、プールでは走らない等の約束をみんなが分かって守り、安全に遊べるようになってから、大きなタコプールに入ろうと考えています。子どもたちにも約束を守る理由を伝えて、タコプールに入ることを楽しみにできるようにしています。

七夕

こども園では、七夕を通して、日本の行事や伝統に触れられるようにしています。子どもたちに7月7日は七夕であることを話し、短冊や七夕飾り（三角つなぎとスイカ）を作ることにしました。今回の製作活動では、初めてのりを使って折り紙をつなげたり、クレパスでスイカの種を描いたりしました。のりで貼るとつながる面白さや、自分なりのスイカを作る楽しさを感じながら作っていました。

おうちの方には、短冊や飾り付けのご協力をいただき、ありがとうございました。

たくさんつなげよう



どんなスイカにしようかな



ピーマン収穫

「大きくなあれ」と水をあげながら大切に育てているピーマンが大きくなり、収穫することにしました。一人一つずつ順番に収穫していきます。子どもたちは、自分の順番が回ってくるのを楽しみにしています。

収穫したピーマンは、栄養士の佐藤麗先生が美味しく調理し、給食に出してくれました。食べてみると、「おいしい!」「苦い!」と様々な感想が出ましたが、自分たちが大切に育てた野菜を実際に食べるという大切な経験をしています。このような経験を通して、食べ物に興味をもったり、一口だけは食べてみようとしたり、植物を大切に作る気持ちをもったりできるようにしたいと思います。

今おさえたい生活習慣 ～脱いだ服を畳む・排泄後の適切な拭き方～

身の回りのことを自分でする・
“できる!”と思えることは
自立の1つです

着替え

少しずつ一人で着替えができるようになってきたはな組の子どもたち。

最近、着替えの時に、脱いだ服を自分で畳めるように指導しています。はじめは、「できない」と諦める姿もありましたが、どこを持ってどう畳むのか具体的に知らせ、保育者がそばで見守りながら“自分にもできた”という経験を重ねていくうちに、自分でできる喜びを感じながら取り組む姿が少しずつ見られるようになってきています。今はまだ畳み方が不恰好ですが、“自分なりにやってみた”姿を大切に認めています。まだ、畳まずに袋にしまったりする姿もありますが、“自分にもできそう”“できた”と思えるように関わっていきます。

脱いだ服を畳むと気持ちよいことや、裏返しになった服を戻しておくとか次に着るときに着やすいことを子どもたちが日々の着替えの中で気付く、よさや必要感を感じながら取り組めるようにしていきたいです。

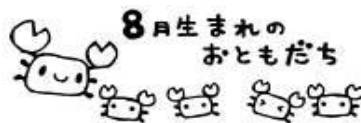
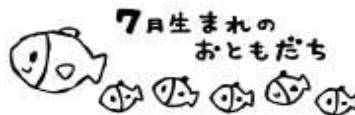


排泄

子どもたちを見ていると、排泄時、トイレットペーパーの量や拭き方が難しい様子があります。また、大便時に、自分で拭く経験が少ないように感じます。子どもにとっては見えにくい部分なので、お尻の穴の位置や、拭く場所が分からないこともあります。お風呂に入ったときにお子さんと一緒に確認してみましょう。ペーパーの持ち方や適切な量、切り方、拭き方など、ご家庭でもぜひ知らせていってください。大便時、手が汚れるのを嫌がる場合には、はじめは大人が拭き、仕上げをお子さんが試してみるのもよいですね。

おたんじょうび おめでとう!

8月の誕生児も、7月の誕生会で
一緒にお祝いします。



夏季休業期間の保育について

夏季休業期間は、担任だけでなく、多くの保育者とも関わります。4、5歳児と同じ場で過ごす時間も増えます。今までの過ごし方と少し変わったり、いつもとは違う保育者と過ごす時間が増えたりしますが、夏の自然にたくさん触れながら、楽しく過ごしていきたいと思っています。

夏季休業期間は教育時間外ですので、保護者の方の仕事がお休みの日は、平日でもご家庭でお子さんと一緒に過ごしてください。休みの日には、夏ならではの経験をしたり、ご家族と一緒に楽しむ時間を過ごしたりできるとよいですね。

どうぞ、暑さに気を付けながら、元気にお過ごしください。

夏に気を付けたい病気

プール熱 (咽頭結膜熱)

プールに入れる条件・注意点
 主要症状が消えてから、2日を経過するまでは出席停止。



対処法

- タオルの共用は避け、感染者の使ったタオルなどは、熱湯消毒した後洗濯する。
- 水分補給は十分にし、口当たりのよい食べ物を与える。

ヘルパンギーナ

プールに入れる条件・注意点
 熱がなく、ふつうに食事ができ、元気であればプールはOK。



対処法

- のどの痛みが強いため、熱い物や冷たすぎる物、酸味のある物や塩味のきつい物など刺激の強い物は避ける。
- 痛みが激しいときは、かまずに飲み込める食べ物にする。
- しっかりと水分補給をする。

はやり目 (流行性角結膜炎)

プールに入れる条件・注意点
 結膜炎の症状が消失し、医師が周囲への感染がなくなったと判断するまでは出席停止。



対処法

- 目を触らせないように注意し、せっけんでしっかり手を洗わせる。
- 目に触れる物の共用は避け、感染者が触った物は、せっけんで洗ったり、消毒したりする。

手足口病

プールに入れる条件・注意点
 熱がなく、ふつうに食事ができ、元気であればプールはOK。



対処法

- 薄味で口当たりのよい食べ物を与える。
- 食後はぬるめのお茶を飲ませて、口の中をきれいにする。
- しっかりと水分補給をする。

とびひ (伝染性膿痂疹)



主な症状

- * 湿疹や虫刺されのあとをかくことで、米粒大の透明な水疱ができ、しだいにうみを持って、かゆくなる。
- * 水疱の膜が破れると、中の菌を含んだ液が飛び散り広がる。

対処法

- かさぶたができていて、皮膚が乾燥しているが、汁が出ている部分をガーゼなどで覆うことができれば、登園可能。
- つめは短く切る。
- 感染者とタオルなどの共用はやめる。
- かさぶたができるまでプールには入れない。
- 水道びの後は、シャワー洗浄や抗菌剤塗布の配慮が必要。

水いぼ (伝染性軟属腫)



主な症状

- * 1〜2mm程度のブツブツができる(真ん中にへこみがあり、硬くてつやがあり、皮膚と同色)。しばらくすると3〜4mmになる。
- * 痛みはないがかゆみを伴うこともある。
- * わきの下、わき腹、足のつけ根など、皮膚と皮膚がこすれ合うところによくでき、体中に広がる。

対処法

- ほうっておくと体中に広がるので、ひとつでも水いぼを見つけたら、医師の診断を受ける。
- プールでの感染はないが、つぶれてしまっているときは、プールは避ける。
- タオルやビート板などを介しての感染があるので、共用は避け、プールの後は体をよく洗い流す。

夏に流行しやすい主な感染症についてまとめました。プールを介して感染する病気もあります。登園にはお医者さんの許可が必要です。